



梅内聚落だより

5

第 号
令和4年2月21日

旧さんぽえむ

梅内聚落ホームページ



●建物が能代市から譲渡されました

昨年中に能代市が屋根と外壁の改修を終え、12月の市議会の議決を経て、1月1日付けで正式に能代市から無償で譲渡されました。

●総務省の補助事業に申請

昨年の総会でも説明したとおり、さんぽえむの内部改修や備品購入のための補助事業に2月3日付けで申請しました。市を経由する事業のため、5月の交付決定、6月の市の補正予算を経て、7月からの事業実施となります。

【主な内容】

ハード事業・・・トイレ改修工事

備品購入・・・ストーブ、エアコン、映写装置、音響セット、Wi-Fi設備、調理室備品など

ソフト事業・・・先進地視察など

(詳細は4月の総会でご報告いたします)

●コミュニティ生活圏形成支援事業が終了

R02年から2ヶ年にわたって行われた秋田県主催の同事業が、昨年の12月で終了しました。02年はワークショップを2回、03年は座談会が5回行われ、話し合いを重ねてきました。委員の皆様、長い期間にわたり誠にありがとうございました。

※話し合いのまとめは裏面に



何も対策をしないでいると、20年後には梅内の人口が今の半分になり集落消滅の危機に直面する、という厳しい現実を踏まえ、梅内を維持していくにはどうしたらいいか、何から手を付けるべきかなど、真剣に話し合いを続けてきました。

2月11日、春祈祷

コロナ禍のため、地域の皆様の参拝はご遠慮いただき、関係者だけでの祈祷となりました。終了後は例年どおり、皆さんが持ち寄ったお守りやお札などのお焚き上げを行いました。





地域おこし協力隊の檜森隆太です。梅内の地域密着型協力隊に委任され、梅内に引っ越してきてからもうすぐ5ヶ月になります。なんとか梅内の生活にも慣れてきたところですが、せっかく引っ越してきたもののコロナや大雪でなかなか思うように活動できず悶々とした毎日を送っています。

さて、他所から来た人間の梅内の感想ですが、協議会の役員の方々だけでなく聚落の住民皆さんがとても元気でやる気に満ち溢れていて、とても素晴らしい所だなと毎日驚かされています。若い人や他所から来た人が中心になって地域おこしをおこなっている所は全国にたくさんありますが、地域在住のご高齢の方が中心になって地域おこしを頑張っているところは、あまりありません。そんな素晴らしい梅内の維持・発展に少しでも貢献できるようこれから頑張っていきたいです。

現在あまり活動できていませんが、Facebookに「梅内聚落」の名前でアカウントを作りました。梅内のイベントや梅内の景色、施設などをインターネットで全国に紹介しています。まだまだ規模は小さいですが、今後少しずつ拡大していけたらと思いますので、興味のある方、Facebookアカウントをお持ちの方は一度検索してみてください。また、「梅内にこんなものあるよ!」とか「梅内のこれを紹介してほしい!」などありましたら檜森までご連絡ください。写真を撮りに伺います。

任期はあと2年と7ヶ月ですが、よろしくお願いします!



協力隊員のフェイスブック／お焚き上げの動画

コミュニティ生活圏形成支援事業での話し合いの概要

テーマ	内 容	実現するために
みんなが集まれる場所（さんばえむ）が必要	子どもや若い人達が集まれる場、子育てママがつどえる場、一人暮らし高齢者も顔を出せる場	子ども会との連携 交通手段の無い老人の送迎 施設利用料金の検討
	地域のいろいろな団体が利用できる事務室を整備	
	施設の運営協議会で利用方法や運営方法を協議	
老後も梅内で住めるように福祉を充実	病院や買い物に車での送迎支援	先行事例に学ぶ 特定の人に負担が集中しない工夫
	独居老人などの見守りの仕組み	
	高齢者宅などの除雪支援	
地域資源を活かして経済的メリットを得る	山菜や山仕事の担い手の確保	担い手の募集、先進事例の調査研究
	地域資源を活かした加工品づくり	商品開発に向けた研修会、販路の開拓
	子育てへの応援金制度	類似事例の調査
人口減少にブレーキをかける	移住相談の窓口づくり	聚落が窓口となる
	空き家の調査、所有者との交渉	空き家の改修を住民の手で
	体験ツアーを実施、梅内の強みをPR（田畑山林、温泉）	移住希望者向けに体験の場を提供

